

ハーモニー



(第34号)

発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会
 電話：22-2212 FAX：22-3910 メール：kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

chapter 1 男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会の活動

平成 26 年度がスタートし、男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会(略称：男女懇話会)の活動も 10 年目を迎えました。今回は、これまでの男女懇話会の活動について少し紹介させていただきます。

男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会のこれまでの活動

平成 16 年 3 月	第 1 次下田市男女共同参画推進プラン策定
平成 16 年 4 月	「男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会(男女懇話会)」設立 ・第 1 次下田市男女共同参画推進プラン策定に携わった策定委員会のメンバーを中心に設立されました。
平成 18 年 1 月	下田市男女共同参画情報紙「ハーモニー」創刊(年 4 回発行)
平成 18 年 3 月	託児ボランティア「しもだ子育て応援隊ぽっぽ」設立 ・男女懇話会の検討において、子育て支援が男女共同参画の実現に向けた重要な柱であることが提起され、その実現に向けて様々な取り組みがされました。
平成 19 年 8 月	男女懇話会伊澤英子代表が、静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒章を受章
平成 20 年 5 月	社会福祉協議会「ひよこサロン」開設(毎月 1 回開催) 「下田子育て支援ネットワーク」設立
平成 21 年 3 月	第 2 次下田市男女共同参画推進プラン策定
平成 22 年 4 月	下田市地域子育て支援センター開設
平成 24 年 4 月	下田市ファミリーサポートセンター事業開始

上記の活動以外に、設立以降、数多くの男女共同参画学習会や研修会、講演会、他団体との意見交換会などを開催し、男女共同参画に関する様々な学習活動と課題解決に向けた取り組みを行ってきました。

男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会が目指すもの

男女懇話会では、下田市が男女共同参画社会を実現するため、これまでの具体的な実例や活動の中での経験から、「1. 子育て支援を考える」「2. 政策や方針決定の場への女性参画拡大を考える」「3. 高齢者・生活困難者(家庭)の支援を考える」の 3 つの課題を挙げ、検討することにより「地域力が向上」することを目指しています。

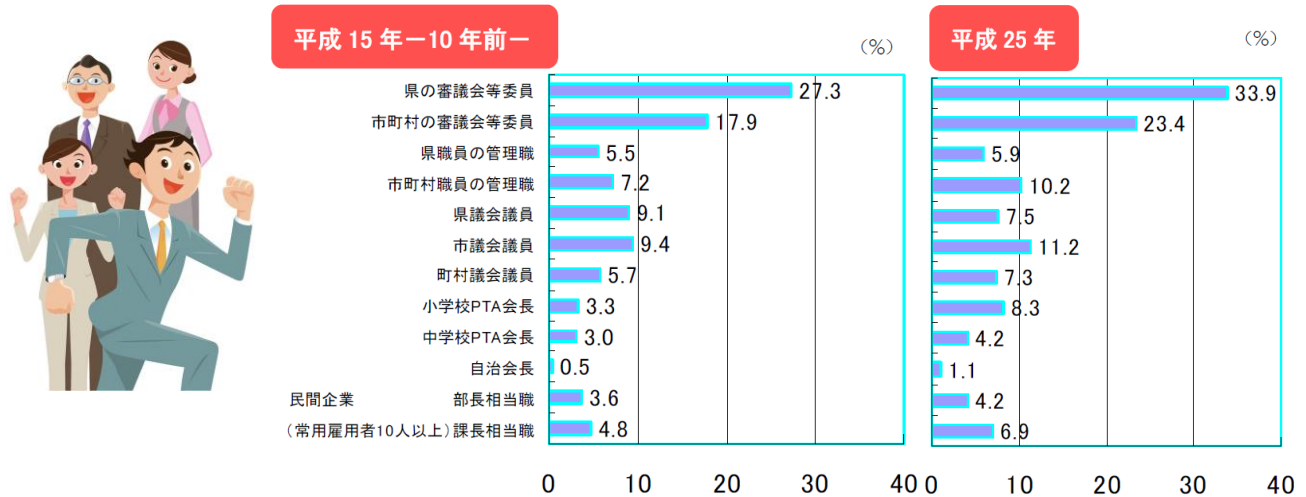
市民の皆さまと共に手を取り合い、話し合い、活動を一步一步進めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

chapter 2 静岡県男女共同参画白書（平成25年度版）

静岡県男女共同参画白書の中から静岡県の男女共同参画推進の指針である「第2次静岡県男女共同参画基本計画(計画期間：平成23～32年度)」に基づき、4つの重点テーマ別に現状をご紹介します。

テーマ1 政策や方針の決定の場における女性の参画拡大

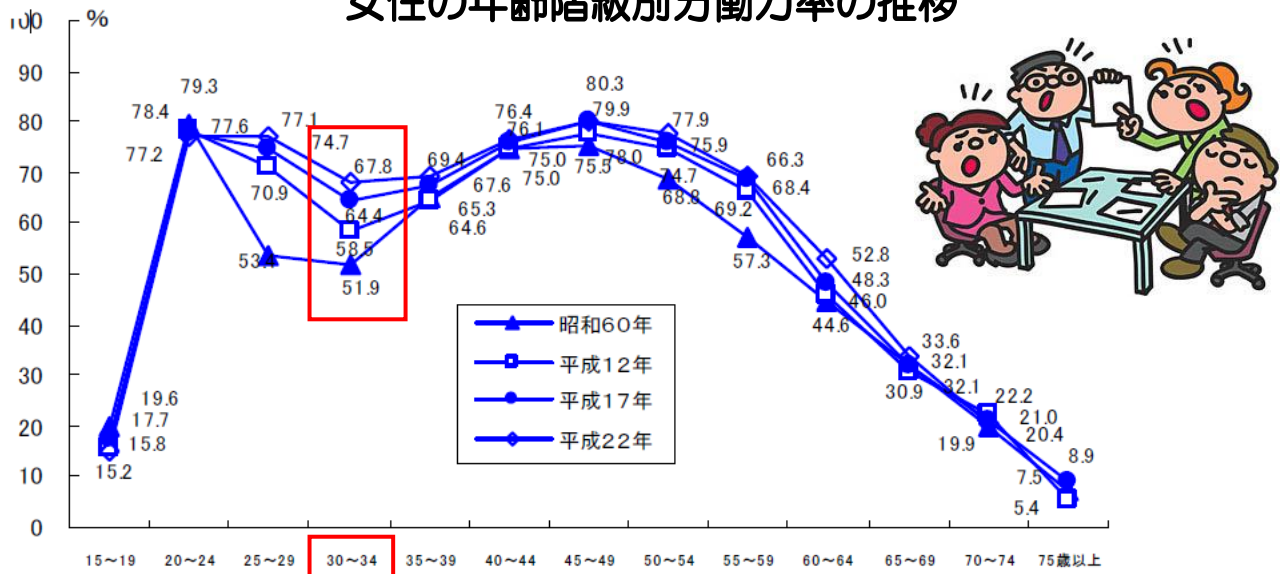
静岡県内の各分野における女性が占める割合



この10年間で少しずつ女性比率は高まっているものの、全体として、各分野での女性の活躍促進が統計データに顕著には反映されていない結果となっています。国は社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的な地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度にするという目標を掲げています。

テーマ2 男女双方にとってのワーク・ライフ・バランスの実現

女性の年齢階級別労働力率の推移

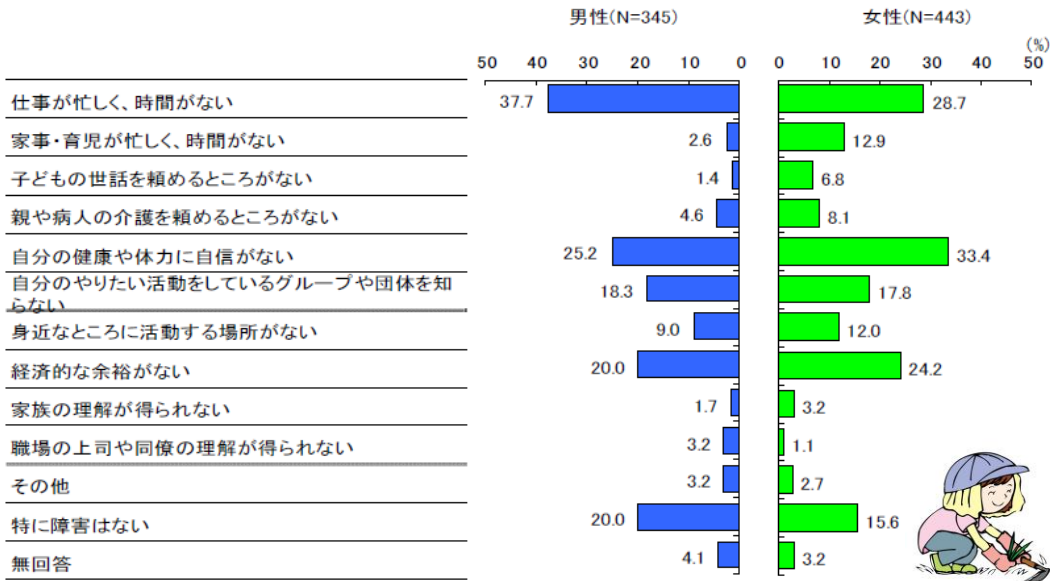


昭和61年より施行されました「男女雇用機会均等法」ですが、施行前の昭和60年当時は「30～34歳」がM字カーブの底となり、51.9%でした。平成22年でも「30～34歳」が底で、67.8%となっていますが、法施行前と比べ谷が浅くなっています。

【M字カーブ】：出産・育児期にあたる30歳代で就業率が落ち込み、子育てが一段落した後に再就職する人が多いことを反映しています。

テーマ3 男女共同参画推進による地域力の強化

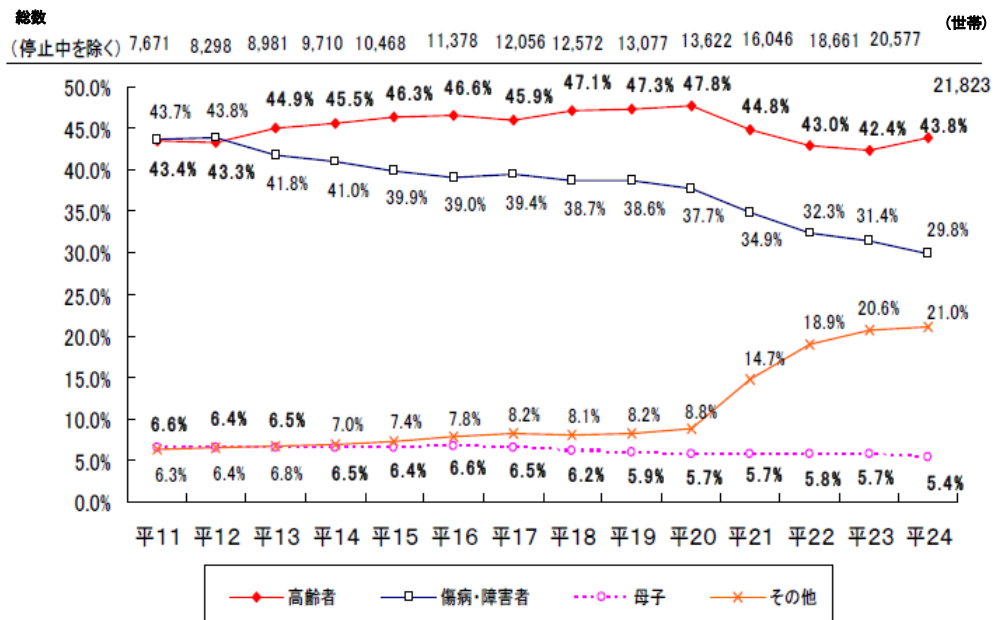
地域活動に参加しようとするときに障害となること



地域活動に参加しようとするときの障害は、男女で異なります。男性では「仕事が忙しく時間がない」が37.7%、女性では「自分の健康や体力に自信がない」が34.4%と最も高くなっています。また、男性より女性のほうが、家事、育児や介護に関することが障害であるとする割合が高くなっています。

テーマ4 格差や貧困の視点を織り込んだ男女共同参画の推進

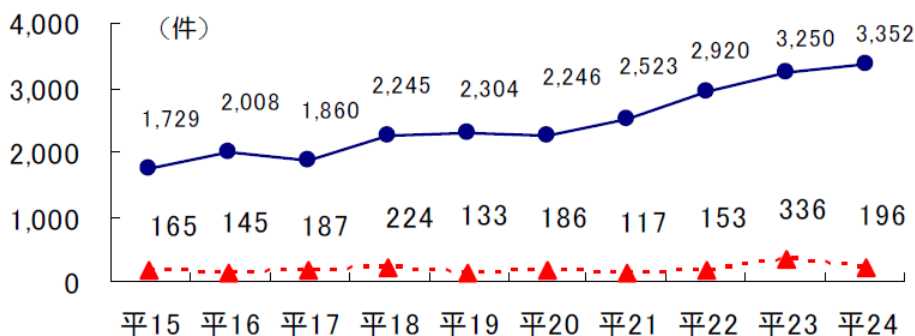
生活保護世帯の内訳別推移



平成11年から平成24年までの動向を見ると、生活保護世帯数は1万世帯以上増加しました。また、内訳を見ると、高齢者世帯が最も多くなっています。平成21年以降は、急激に生活保護世帯数が増加し、内訳を見ると、その他の生活困窮世帯による割合が急増しています。

※静岡県男女共同参画白書の全体版は、静岡県男女共同参画ポータルサイト「あざれあナビ」に掲載しています。ホームページアドレス <http://www.azarea-navi.jp>

DV相談件数及びセクシュアル・ハラスメント件数の推移



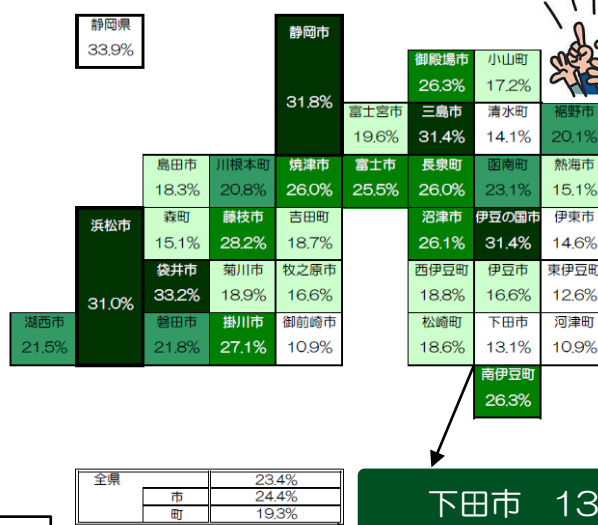
●— DV相談件数 - - - ▲ - - - セクシュアル・ハラスメント相談件数

平成13年にDV防止法施行された後、平成16年・20年に法律が一部改正され、生命等に対する脅迫も保護命令の対象となるなどの保護命令制度が拡充されました。このような法律の整備に比例してDV相談の件数も増加傾向にあります。セクシュアル・ハラスメントに関する相談は、平成23年に前年比25倍に増加しましたが、その後平成24年には140件減少しました。

【DV】：家庭内における暴力行為。特に、配偶者や恋人など近い関係にある異性への暴力。身体的な暴力行為のほか、精神的・性的暴力も含む。ドメスティックバイオレンス。配偶者間暴力。

市町の審議会等委員に占める女性の割合

市町名	審議会等における登用状況		女性比率	所属団体数
	総委員数	女性委員数		
深井市	397	132	33.2%	5団体
静岡市	1,037	330	31.8%	
三島市	548	172	31.4%	
伊豆の国市	274	86	31.4%	
浜松市	994	308	31.0%	
藤枝市	436	123	28.2%	8団体
掛川市	516	140	27.1%	
御殿場市	513	135	26.3%	
南伊豆町	259	68	26.3%	
沼津市	559	146	26.1%	
焼津市	381	99	26.0%	
長泉町	331	86	26.0%	
富士市	615	157	25.5%	
函南町	234	54	23.1%	5団体
磐田市	476	104	21.8%	
湖西市	261	56	21.5%	
川根本町	264	55	20.8%	
裾野市	537	108	20.1%	
富士宮市	557	109	19.6%	11団体
菊川市	259	49	18.9%	
西伊豆町	144	27	18.8%	
吉田町	246	46	18.7%	
松崎町	258	48	18.6%	
島田市	339	62	18.3%	
小山町	244	42	17.2%	
牧之原市	223	37	16.6%	
伊豆市	341	55	16.1%	
熱海市	331	50	15.1%	
森町	146	22	15.1%	
伊東市	398	58	14.6%	6団体
清水町	213	30	14.1%	
下田市	367	48	13.1%	
東伊豆町	230	29	12.6%	
御前崎市	238	26	10.9%	
河津町	129	14	10.9%	
合計	13,295	3,111	23.4%	



*備考：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」（平成25年度）に基づき作成。

県内市町の行政、議会、地域の各分野における市町別の参画状況を地図に示したものです。下田市は13.1%と依然として低い水準となっております。様々な機会を通じ、方針決定過程への女性の参画拡大に向けた働きかけ等を積極的に進めていく必要があります。

男女共同参画情報紙「ハーモニー」は、下田市ホームページでも公開されております。

ホームページアドレス <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

【 ホーム > 市政ガイド > 男女共同参画 > 男女共同参画情報誌「ハーモニー」 】

※男女共同参画情報紙「ハーモニー」へのご意見、ご感想を募集しております。

下田市役所 企画財政課 企画調整係 までご連絡ください。

TEL : 0558-22-2212 FAX : 0558-22-3910 E-mail : kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp